

2024年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52231	保育内容(環境) Child-care Contents (Environment)	彦坂美希	✓	専門	1	必修	1年後期
科目の概要							
幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に示されるように保育は環境を通して行う。領域「環境」のねらい・内容を理解し、保育の全体的構造の中の位置づけを知る必要があり、環境構成は保育者が意図的に構成しなければならない。その上で乳幼児の発達を理解し、領域「環境」の具体的な保育場면을想定した保育の構想と指導法を実践する。さらに、獲得した知識・技術を活用し、課題解決力を身に付ける。★保育者としての実務経験があり、保育の専門的知識や技術を生かした講義や演習を実施する。これらの内容はディプロマ・ポリシー②③④に相当する。							
学修内容			到達目標				
① 幼児理解に基づいた保育の構想の重要性を理解する ② 幼児の特性を考慮し、情報機器や教材の活用法を理解する ③ 具体的な保育内容を想定した指導計画の作成方法を理解する ④ 模擬保育の振り返りを通して、改善する視点を持つ ⑤ 環境の特性に応じた実践の動向を知る			① 幼児理解に基づいた保育の構想ができる (DP③) ② 幼児の特性を考慮し、情報機器や教材を活用した保育ができる (DP②③) ③ 具体的な保育内容を想定し、指導計画を作成することができる (DP③) ④ 模擬保育の振り返りを通して、改善する視点を持つことができる (DP④) ⑤ 環境特性に応じた実践動向を知り、改善に取り組むことができる (DP③)				
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	環境構成を積極的に考えることができる					
	働きかけ力						
	実行力	環境構成について多面的な視点から調べ、様々な環境構成の構築に活用できる。					
考え抜く力	課題発見力	身近な環境を保育内容に関連付け、ねらい・内容につなげることができる。					
	計画力						
	創造力	保育内容（環境）のねらい・内容を自身の生活や経験と結びつけて考えることができる。					
チームで働く力	発信力	自身で考えた、ねらい・内容を他者に分かりやすく伝えることができる。					
	傾聴力	他者の考え方の要点を理解し、自身との相違点を尊重することができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
参考文献：「幼稚園教育要領解説」「保育所保育指針解説書」「幼保連携型認定こども園保育教育要領解説書」							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：保育内容総論、保育内容（健康）、保育内容（人間関係）、保育内容（表現）、保育内容（言葉） 資格との関連：幼稚園教諭2種・保育士資格							
学修上の助言			受講生とのルール				
自分を取り巻くものはすべて環境と理解し、保育者になろうとする自覚を持ち、生活経験を広めるよう努力すること。身の回りにある伝統行事、家庭文化、生活習慣などに関心を持ち理解する。			テキストや保育所保育指針等を必ず持参のこと 毎回演習を行うための準備を済ませ授業に臨むこと				

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
	平常評価	小テスト	40	①	✓			・保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の領域「環境」について理解できている。10点 ・環境構成の重要な要素をねらい・内容から理解して考えることができる。10点 ・記述式の設問を入れ、獲得した知識・技術を活用し、応用的に整理できているかを評価する。20点
				②				
				③	✓			
				④				
				⑤				
		レポート	0	①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	50	①	✓			チームで協力し、意欲的に取り組みができる。5点 演習準備に不備がない。5点 演習作業に対し積極的に取り組み成果が結果として表れている。10点 自身の経験と結びつけて考え、調べ、工夫して作成していることが見て取れる。10点 環境構成の重要性を理解し、教材研究に努力した作品が作成できる。10点×2
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			（主体性）環境に関心を持ち、積極的に授業に参加する。 （実行力）課題に対して計画性を持って、確実に進めることができる。 （課題発見力）保育の環境に興味を持ち、保育内容に結び付け考えることができる。 （創造力）課題を実現できるように考え、保育実践に活かすことができる。 （発信力）自分の考えをまとめ、相手に理解しやすく伝えることができる。 （傾聴力）相手の考えを引き出し、要点をまとめることができる。 （規律性）遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。 演習支度を授業開始前に済ませ授業開始を待てる。 受講態度（学習意欲欠如）が見られる場合は減点対象である 6回以上の欠席は放棄判定となる	
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
			⑤	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
環境の特性を理解し、保育の内容を意識して環境構成する力を持つ。 総合評価し90点以上はS（秀）、89～80はA（優）とする。	作品、レポートなど課題に対し保育者を意識した取り組みができる。 総合評価し79～70はB（良）、69～60はC（可）とする。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション 領域「環境」に求められること	講義 グループ討議「子どもと環境について」	授業の目的、内容、進め方について理解し今後の学修方法を知ることができる。 環境は人が生きていくうえで大切なものであることや幼児教育にとっての重要性を認識することができる。	(予習) 保育所保育指針解説書 p14～16を読み、幼児教育における環境の受容性について、自分なりの考えをまとめておく。 (復習) 本日の授業振り返り、まとめておく。	90	傾聴力 規律性
2	子どもの発達にふさわしい環境について、物的環境に視点を当て、事前的に理解する。	前回の学びを質疑応答し、フィードバックする。 グループ討議「環境が子どもに与えるメッセージ」 発表を解説し、発達に応じた環境と保育者の援助について理解することができるようにする。	これまでの学修を踏まえ、子どもにとってふさわしい環境について、保育者としての意見を持ち、発表することができる。 他者の意見を聞いたり、解説を受けたりすることを通して、子どもにとってふさわしい環境について理解し、保育者としての自身の考えを深めることができる。	(予習) 事前に与えられたテーマに対して、保育者としての自分なりの意見を発表することができるよう、考えをまとめておく。 (復習) 本日の授業を振り返り、まとめる。	90	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
3	子どもの身近な自然に対する興味・関心、理解の発達について、実践的に理解する。	前回の学びを質疑応答し、フィードバックする。 グループ討議「子どもの身近な生き物に関わりに対する捉えと援助」 発表を解説し、乳幼児が身近な動植物とかかわる際の発達や保育者の援助について理解することができるようにする。	これまでの学修を踏まえ、乳幼児が身近な動植物に関わる際の援助について、保育者としての意見を持ち、発表することができる。 他者の意見を聞いたり、解説を受けたりすることを通して、乳幼児が身近な動植物へかかわる際の発達や保育者の援助について理解し、保育者としての自身の考えを深めることができる。	(予習) 事前に与えられたテーマに対して、保育者としての自分なりの意見を発表することができるよう、考えをまとめておく。 (復習) 本日の授業を振り返り、まとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
4	保育におけるICTの活用について、実践的に理解する。	前回の学びを質疑応答し、フィードバックする。 グループ討議「保育へのICTの活用について」 発表を解説し、保育へのICTの活用と保育者の援助について、理解することができるようにする。	これまでの学修を踏まえ、保育へのICTの活用について、保育者としての意見を持ち、発表することができる。 他者の意見を聞いたり、解説を受けたりすることを通して、保育へのICTの活用と保育者の援助について、保育者としての自身の考えを深めることができる。	(予習) 事前に与えられたテーマに対して、保育者としての自分なりの意見を発表することができるよう、考えをまとめておく。 (復習) 本日の授業を振り返り、まとめる。	90	主体性 実行力 創造力 柔軟性 規律性
5	子どもの文字等に対する興味・関心、理解の発達について、実践的に理解する。	前回の学びを質疑応答し、フィードバックする。 グループ討議「子どもの文字等への関わりに対する捉えと援助」 発表を解説し、乳幼児の文字等への関わり方の発達と保育者の援助について理解することができるようにする。	これまでの学修を踏まえ、乳幼児の文字等への関わりに対する援助について、保育者としての意見を持ち、発表することができる。 他者の意見を聞いたり、解説を受けたりすることを通して、乳幼児の文字等への興味・関心と理解の発達や保育者の援助について理解し、保育者としての自身の考えを深めることができる。	(予習) 事前に与えられたテーマに対して、保育者としての自分なりの意見を発表することができるよう、考えをまとめておく。 (復習) 本日の授業を振り返り、まとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
6	子どもの科学的概念に対する興味・関心、理解の発達について、実践的に理解する。	前回の学びを質疑応答し、フィードバックする。 グループ討議「子どもが玩具への関わりに対する捉えと援助」 発表を解説し、乳幼児の物への関わり方の発達と保育者の援助について理解することができるようにする。	これまでの学修を踏まえ、乳幼児が物に関わる際の保育者の援助について、保育者としての意見を持ち、発表することができる。 他者の意見を聞いたり、解説を受けたりすることを通して、乳幼児の科学的概念への興味・関心と理解の発達や保育者の援助について理解し、保育者としての自身の考えを深めることができる。	(予習) 事前に与えられたテーマに対して、保育者としての自分なりの意見を発表することができるよう、考えをまとめておく。 (復習) 本日の授業を振り返り、まとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	教材研究①「身近な自然物を使った製作」	前回の学びを質疑応答し、フィードバックする。 演習「身近な自然物を使った製作」	身近な自然物に興味・関心を持ち、積極的に活動に参加することができる。 身近な自然物の教材的価値を理解することができる。	(予習) 事前準備として、森林や公園等で木の実や小枝、落ち葉などを集めておく。 (復習) 本日の授業を振り返り、まとめる。	90	主体性 課題発見力 創造力 発信力 規律性
8	教材研究②「身近な自然物を使った玩具」	前回の学びを質疑応答し、フィードバックする。 演習「身近な自然物を使った玩具作り」	事前に作成する玩具について調べ、必要な材料、用具を用意し、授業に臨むことができる。 授業時間内に作品を完成させることができるよう、必要な準備等を事前に済ませておくことができる。 乳幼児が作製する、もしくは、遊ぶことを想定しながら、玩具を作製したり、作品の省察を行ったりすることができる。	(予習) 事前準備として、身近な自然物を使った玩具を考え、必要な材料、用具を用意する。また、必要に応じて、授業時間内に作製し終えることができるように準備しておく。 (復習) 作品に対する省察を行う。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	子どもにとって「身近」である意義について、理解する。	前回の学びを質疑応答し、フィードバックする。 グループ討議「身近であることの教育的意義」 発表を解説し、保育において「身近である」ことの意義について理解することができるようにする。	これまでの学修を踏まえ、乳幼児にとって身近であることの意味について、保育者としての意見を持ち、発表することができる。 他者の意見を聞いたり、解説を受けたりすることを通して、乳幼児にとって身近であることの意味について、保育者としての自身の考えを深めることができる。	(予習) 事前に与えられたテーマに対して、保育者としての自分なりの意見を発表することができるよう、考えをまとめておく。 (復習) 本日の授業を振り返り、まとめる。	90	実行力 課題発見力 創造力 発信力 規律性
10	教材研究③「身近な素材を使った玩具」	前回の学びを質疑応答し、フィードバックする。 演習「身近な素材を使った玩具作り」を通して、活動のねらい・内容、環境構成について、考える。	身近な素材を使った玩具作りに興味・関心を持ち、積極的に活動に参加することができる。 活動から、ねらい・内容を導き出すことができる。 発達に応じて、活動のねらい・内容が異なることが理解できる。	(予習) 授業内で指定された材料、用具を用意する。 (復習) 本日の授業を振り返り、まとめる。	90	実行力 課題発見力 発信力 規律性
11	教材研究④「わらべうたあそび(1)」	前回の学びを質疑応答し、フィードバックする。 演習「わらべうたあそび」を通して、活動のねらい・内容、環境構成について、考える。	伝統的な遊びに興味・関心を持ち、積極的に活動に参加することができる。 活動から、ねらい・内容を導き出すことができる。 伝統的な遊びの教育的価値を理解することができる。	(予習) 乳幼児と楽しむことができるわらべうたあそびを3つ以上調べて、発表することができるようにしておく。 (復習) 本日の授業を振り返り、まとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 状況把握力 規律性
12	教材研究⑤「わらべうたあそび(2)」	グループで、各々が調べてきたわらべうたあそび(集団遊び)を体験する。	伝統的な遊びに興味・関心を持ち、積極的に活動に参加することができる。 グループ内で扱った活動の教育的価値について考えることができる。	(予習) わらべうたあそび(集団遊び)を調べ、資料を作成し、他者に伝え、遊びを進めることができるようにしておく。	90	主体性 働きかけ力 実行力 計画力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
13	保育の過程について学ぶ。 子ども理解から計画、実践、改善のPDCAサイクルを理解する。	演習 グループで取り上げた活動の指導計画案を作成する。	これまでの学修を踏まえ、活動のねらい・内容、環境について、保育者としての考えを持ち、発表することができる。 積極的に話し合いに参加し、指導計画案を立案することができる。	(予習) グループで取り上げた活動について、ねらい・内容、環境について考え、プリントに記入しておく。	90	主体性 働きかけ力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
14	乳幼児期にふさわしい環境とはどのような環境であるか、また、それを整えるために必要な保育者としての知識について理解する。	前回の学びを質疑応答し、フィードバックする。 グループ討議「乳幼児期にふさわしい環境とは」 発表を解説し、乳幼児期にふさわしい環境について理解することができるようにする。	これまでの学修を踏まえ、乳幼児にふさわしい環境とはどのような環境を指すのか、保育者としての考えを持ち、発表することができる。 環境を整えることは保育者の重要な役割であることを理解し、そのために必要な知識や態度について理解することができる。	(予習) 事前に与えられたテーマに対して、保育者としての自分なりの意見を発表することができるよう、考えをまとめておく。 (復習) 本日の授業を振り返り、まとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力
15	乳幼児期の発達における環境との関わりについて、実践や現代的課題について学ぶ。 保育内容・領域「環境」と保育者の役割を再確認する。	オンデマンド これまでの学びのまとめ	幼児と環境で学んだことを保育実践に活用しようとする知識、技術、意欲がある。	(予習) 配布資料、保育所保育指針解説の該当ページを読み返しておく。 (復習) これまでの学修を振り返り、まとめレポートを作成する。	90	課題発見力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力